

職能別実務者研修会 学校危機管理研修会（西日本）実施概要

私立学校職能別実務者研修 学校危機管理研修会が、平成 23 年 6 月 18 日（土）神戸市の兵庫県私学会館にて開催された。

学校の安全と危機管理は、私立学校の管理運営上において重要な問題であり、最近特に関心が高まっている。学校の危機管理には、災害に対する危機管理、教育学習活動に関する



る危機管理、学校経営に関する危機管理などがあり、日常の教育学習活動のすべてにおいて関わりを持っている。私立学校の全教職員は、危機管理に関する意識を持ち、業務に従事する事が求められている。

従来から、学校現場においては学校や教職員に対する苦情等がみられたが、近年、開かれた学校づくりや学力の向上等の教育諸課題への取組みなど学校を取り巻く環

境が大きく変化している中であって、保護者や地域住民等からの苦情等は年々多様化してきている。苦情等は貴重な情報源であるとともに、学校や教職員に対する大きな期待の表れとも言える。しかし、様々な苦情等に適切に対応していくためには、教職員個人の力だけでは対応できない状況も想定され、教職員は個人だけではなく、組織として対応していく必要がある。

保護者や地域住民からの苦情等に対して、それぞれの教職員がその立場に応じて適切に対応することができるように、この分野の専門家である大阪大学大学院人間科学研究科教授 小野田正利氏を招いて講演と実習をおこなった。



小野田氏は、情熱的な語り口で具体的な事例を挙げて、いわゆる「学校へのイチャモン」と近年称される事象を解説していただいた。

解説の後、7名ほどの班に分かれて、ロールプレイングを行い、具体的な保護者対応を模擬体験した。受講者たちは皆、真剣なまなざしで、与えられた役割を演じていた。

熱気溢れる研修会は、その日の夕刻、多くの収穫をもって終了した。